



大学授業への 実務能力認定制度の適用に関する ご提案

～スキルに見える化による就業支援～

特定非営利活動法人 実務能力認定機構(ACPA)

ご提案の背景と趣旨

現在の厳しい雇用情勢において、学生の資質能力に対する社会からの要請や、学生の多様化に伴う卒業後の職業生活等への移行支援の必要性等が高まっています。

このため、文部科学省は、「大学は、生涯を通じた持続的な就業力の育成を目指し、教育課程の内外を通じて社会的・職業的自立に向けた指導等に取り組むこと、また、そのための体制を整えることが必要」とし、その制度化を図るため、大学設置基準および短期大学設置基準を改正しました。

各大学は従来からのキャリア形成支援活動に加え、「大学生の就業力育成事業」等により、その強化を図っておりますが、今後益々、キャリア育成科目等の充実が要請されています。

キャリア科目等の拡充にともない、大学提供科目により育成するスキル内容および学生が修得したスキル内容の明確化が必要となります。これにより、学生は、社会で必要となるスキル体系を理解し、自分が修得したスキルの位置づけを意識することで、就職活動対策としてだけでなく、社会人としての人間力形成の気づきを得ることが可能となります。

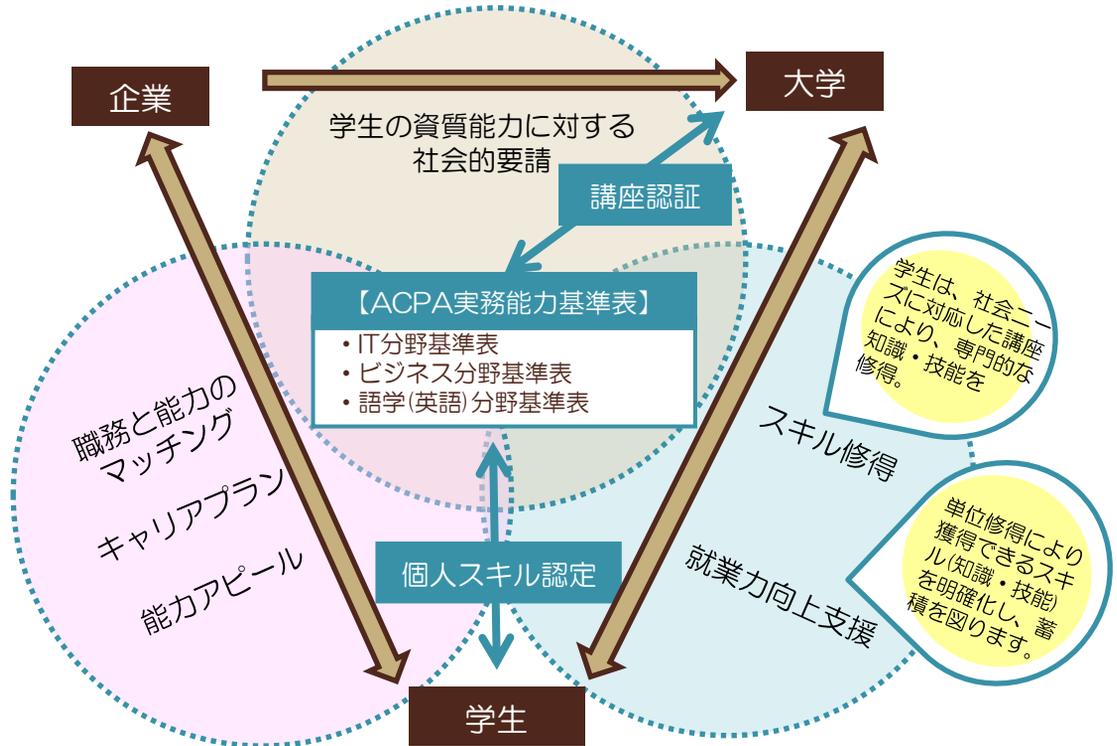
特定非営利活動法人 実務能力認定機構（ACPA）は、実務能力基準表に基づき、大学授業が包含するスキルの明確化＜講座認証＞を行い、その単位修得者へのスキル認定証明書の発行＜スキル個人認定＞を通じて、社会が求める人材の育成を支援する実務能力認定制度の普及に努めています。

貴学科目におかれましてもACPA実務能力認定制度の適用のご検討を賜りたくご提案する次第です。

特定非営利活動法人 実務能力認定機構（ACPA）

大学におけるACPA実務能力認定制度の概要

【ACPAのスキル認定制度の仕組み】



ACPA

スキル認定証明書

ACPAノット番号 SK-1111-111-AA
氏名 実務 武部 様

貴方は、実務能力認定機関が認定した課程において下記のスキルを修得し、認定されたことをここに証します。

2011年8月1日
特定非営利活動法人 実務能力認定機構
理事長 寛 捷彦

スキル名	修得レベル	取得科目
パーソナルスキル① コミュニケーション	3	社会実務/コミュニケーション能力
パーソナルスキル② マネジメント	3	社会実務/マネジメント能力
ビジネス基礎① OS	3	社会実務/情報処理能力
ビジネス基礎② サバーブカラーション	3	社会実務/情報処理能力
データベース① データベースシステム概観	2	社会実務/データベースシステム概観
データベース② データベースシステム実務	2	社会実務/データベースシステム実務

※修得レベルの定義は以下のとおりです。
1: 基本的な内容を概略理解している。
2: 詳細な内容を深く理解している。
3: 実践に活用できる高度な内容を理解・習得し、実際に活用できる。

Accreditation Council for Practical Abilities

取得スキルを表示しています。

スキルの習熟レベルについては「習熟度」で表されています。
習熟度レベルは1～3まであります。

- 1: 基本的な内容を概略理解している。
- 2: 詳細な内容を深く理解している。
- 3: 実践に活用できる高度な内容を理解・習得し、実際に活用できる。

どの科目でスキルを取得したかがわかり、成績証明書とあわせて確認することができます。

■ACPA実務能力基準表

ACPAでは、社会人として求められる基本スキルや企業の実務で必要とされている実務能力に関して、職種・職務に必要なスキル/知識項目を体系的に定め、「ACPA実務能力基準表」(略称：ACPA基準表)として提示しています。現在提示しているACPA基準表は、「IT分野」「ビジネス分野」「語学(英語)」の3分野です。

ACPA基準表は下記サイトからダウンロードが可能です。

AcPASS > 各種書類ダウンロード

<https://acpass.acpa.jp/acpass/download.php>

■講座認証

大学からの講座認証申請に対して、ACPA基準表に基づき審査を行い、認証を付与します。講座認証により、履修生(学生)が習得できるスキル内容および習熟度を明示します。

*授業形態等による制約はありません。

講座認証申請書は下記サイトからダウンロードが可能です。

AcPASS > 各種書類ダウンロード

<https://acpass.acpa.jp/acpass/download.php>

■個人スキル認定

認証講座を履修し、単位を修得した学生からの個人認定申請に対して、スキル認定証明書を発行します。

スキル認定証明書は、成績証明書からは読み取れない、実際に身についたスキル(実務能力)を表します。成績証明書と併せて提示することで、個人の持つスキルを客観的に示すことができます。

スキル認定申請書は下記サイトからダウンロードが可能です。

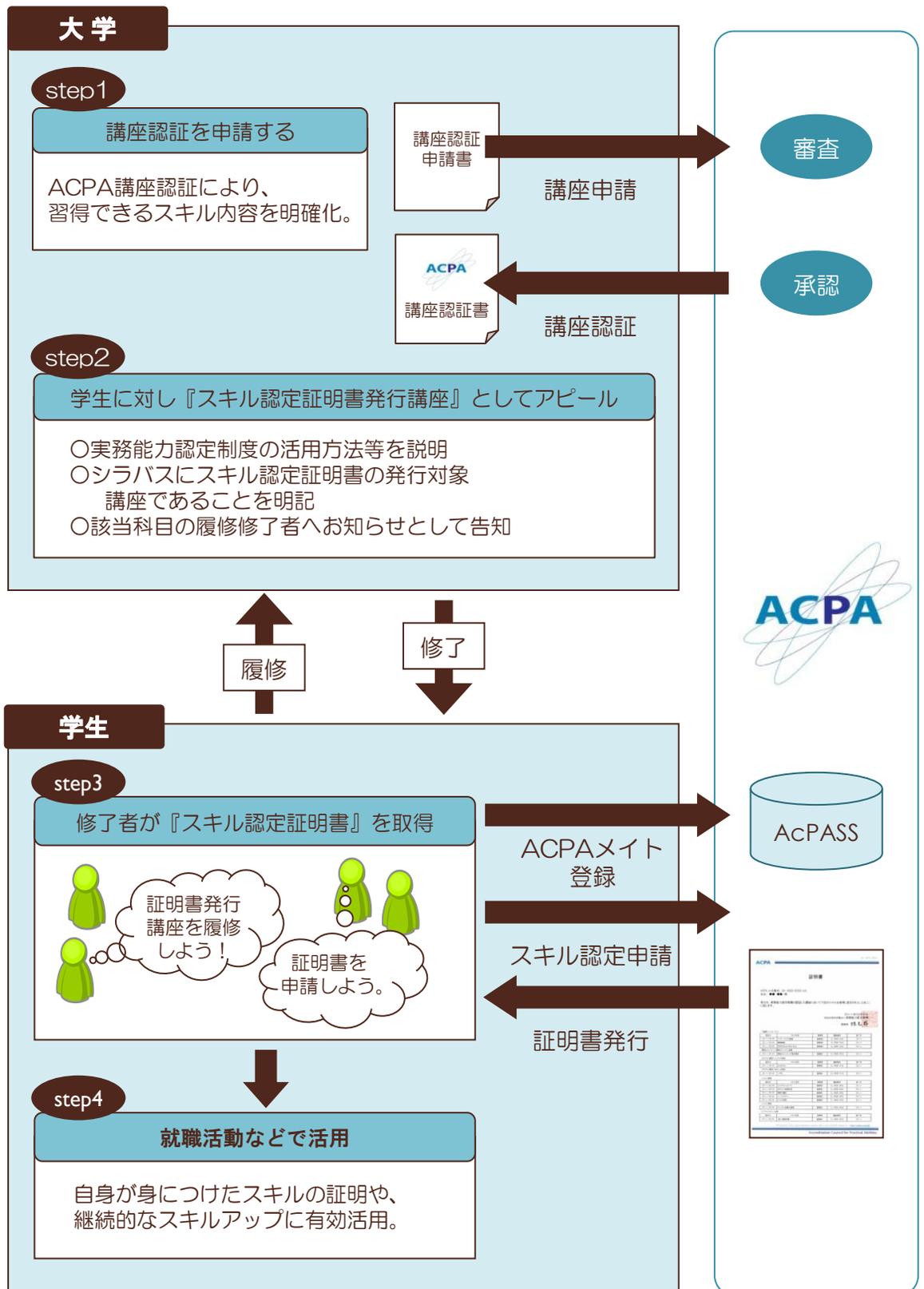
AcPASS > 各種書類ダウンロード

<https://acpass.acpa.jp/acpass/download.php>

【必要書類】 → ACPA事務局へ郵送

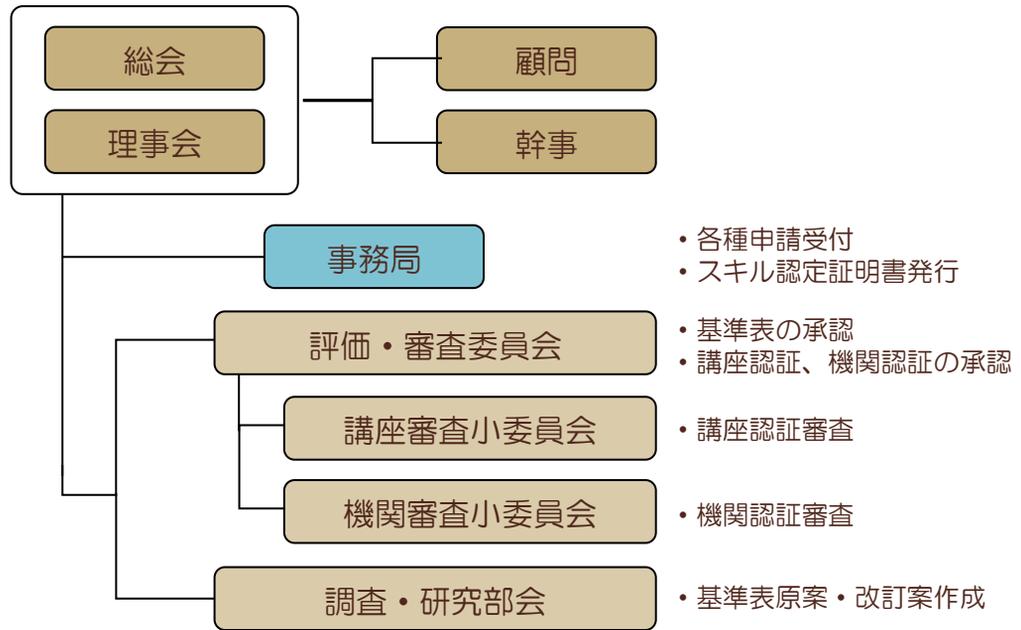
- ① スキル認定申請書 兼「スキル認定証明書」発行依頼書
- ② 該当科目の成績証明書(コピー可)
- ③ 証明書返信用封筒/80円切手貼付

運営のしくみ

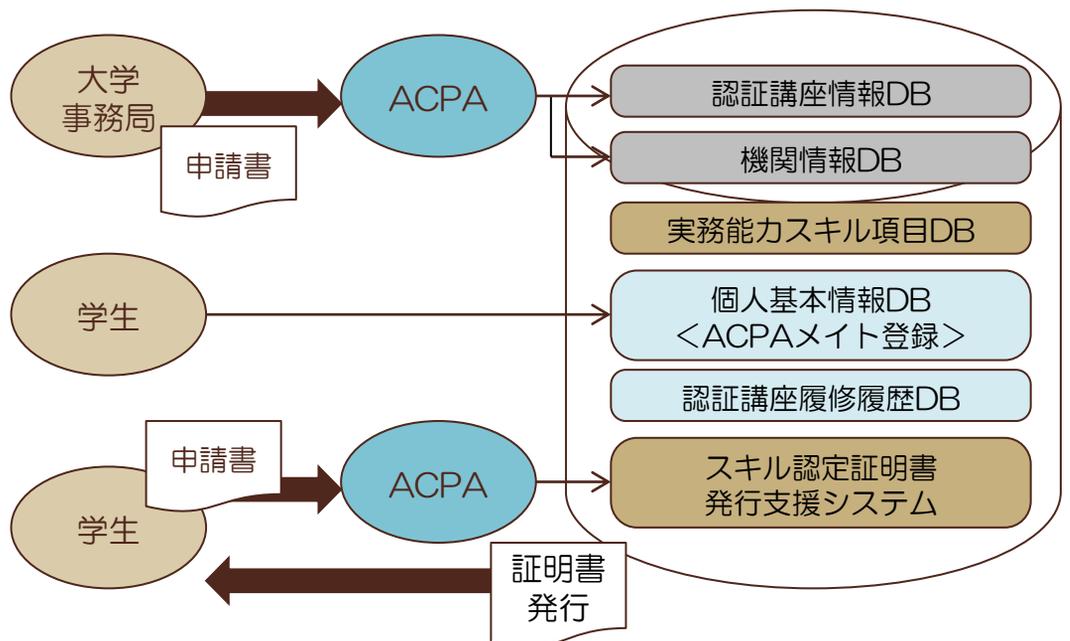


ACPAの運営体制および運営システム

【運営体制】



【運営システム】



料金体系など

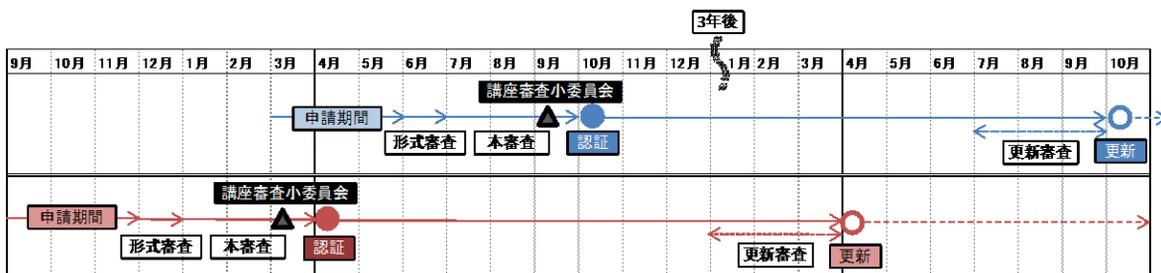
【講座認証】

審査料	更新審査料
¥40,000	¥15,000

- 認証の有効期限は3年です。
- 講座認証・検定試験認証から3年後、更新審査申請に基づき更新審査を行います。（更新審査料が発生します。）
- 講座認証の申請時期は年2回です。

第1クール： 受付3月～ 5月 → 審査 6月～9月 → 10月1日認証

第2クール： 受付9月～11月 → 審査12月～3月 → 4月1日認証



【機関登録】 ※講座運営を行う機関(大学)としての登録申請が必要です。

登録区分	審査料	更新審査料
機関登録	¥0	¥0

【個人スキル認定】

ACPAメイト登録料	スキル認定証明書発行事務手数料
¥1,000	¥1,000（同時発行時の2通目以降は¥500）

- ACPAメイト登録は初回のみ必要です。

【活用事例】 早稲田大学 (1/3)

早稲田大学では、全学共通科目を運営する「メディアネットワークセンター」および「オープン教育センター」が、設置科目(正規科目)の講座申請を行い、ACPA認証講座として学生への提供および周知活動を行っています。

早稲田大学におけるACPA認証講座 (2011年10月現在)

◇メディアネットワークセンター 57科目

* 下記URLにて科目一覧をご覧ください。

http://acpass.acpa.jp/personal/courses_MNC.pdf

◇オープン教育センター 17科目

* 下記URLにて科目一覧をご覧ください。

http://acpass.acpa.jp/personal/courses_OEC.pdf

【早稲田大学における学生への周知活動】

○設置科目シラバスへ「ACPA認証講座」を明記

○上記センターHPおよびキャリアセンターHPにACPA認定制度の紹介ページを設置

← ACPAよりリンク先紹介ページを提供

○事務所へのポスター掲示

← ACPAよりポスター原案データを提供

○事務所にてチラシの常設・配布

← ACPAよりチラシ原案データを提供

○科目担当教員から履修生に対しACPA認定制度に関しアナウンス

← ACPAより紹介原稿を提供

○成績通知後、科目設置事務局から該当科目履修合格者に対し、スキル認定証明書に

ついてメール案内（前期・後期各1回）

【活用事例】早稲田大学(2/3)

【スキル認定証明書を活用した就職体験記（抜粋）】

太田 茉利さん 早稲田大学 教育学部 4年

【スキル認定科目】

- ①コンピュータによる統計入門03
- ②コンピュータによる統計解析、分散解析、AICの応用、ブーストラップ法
- ③クライアントサイドWebプログラミング入門02

■就職活動を振り返って印象的なことはありますか？

学業（履修履歴、成績）について聞かれることが予想以上に多かったように思います。その際、スキル認定証明書を取得していることが、単位目的だけで科目を履修してきたのではなく、目的、目標を持って学び、スキルを身につけてきた、という証明になったようです。学業に真剣に取り組んできたということは企業側から評価されるのだと感じました。

■証明書に関し他学生へのアドバイスがあればお願いします。

スキル認定証明書は、資格ではありません。しかし、面接で、“これまで受けた授業で自分に身についたスキル”について質問をされた際、証明書を根拠に自分のスキル、授業に対する取り組みをアピールすることができ、プラスになったと思います。

手当たり次第、または単位取得の容易さを考えて科目登録するよりも、学校の授業に真剣に取り組んでいるだけで、結果として証明書がついてくるACPA認証科目を履修することをおすすめしたいです。

就職活動を念頭に置いた資格取得をしている人も多いと思います。ACPAの『スキル認定証明書』は就職活動のための資格取得とは異なり、授業に真剣に取り組んでいたこと、目標を定めスキルを身につけてきたことを証明してくれるものです。しかも『スキル認定証明書』を取得するために、授業以外の時間、費用は一切かからない、とても効率的、有効的なものだと思います。就職活動中、就職活動を控えるみなさんに、ACPAスキル認定証明書の取得をおすすめします。

【参照ページ】 https://acpass.acpa.jp/personal/consult_23032011.pdf

田島 良太さん 早稲田大学 政治経済学部 4年

【スキル認定科目】

- ①早稲田大学情報環境の活用（アカデミックリテラシー）

■就職活動を振り返って印象的なことはありますか？

勉強に熱心に取り組んだことは間違いなく高評価につながったと思います。特に文系の学生は、アルバイト、旅行、ボランティア等を通じて得た経験をアピールすることが多くなりますが、ほぼ毎回それ以外の経験を聞かれました。その際、学校での勉強について強くアピールできたことは大きな差になったと確信しています。

■証明書に関し他学生へのアドバイスがあればお願いします。

目的意識を持って学校の勉強に取り組んだことをアピールできるのは大きな強みです。ただ漠然と単位取得のために履修科目を決めては勿体ないと思います。ACPAのスキル認定証明書は、学校の勉強にきちんと取り組んだ結果としてついてくるもので、単なる資格取得とは異なります。そこが大きな魅力であり、企業からもその姿勢が評価されました。これから就職活動を控える後輩たちに、ACPA認証科目の履修を是非すすめてほしいです。

【参照ページ】 https://acpass.acpa.jp/personal/consult_24102011.pdf

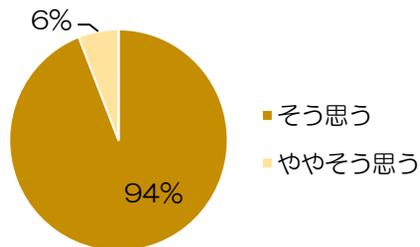
【活用事例】早稲田大学(3/3)

【学生のアンケート評価】

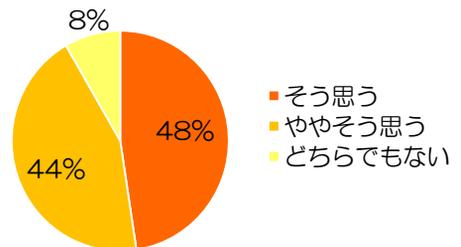
◇アンケート期間：2011年4月～10月

◇回答数：84

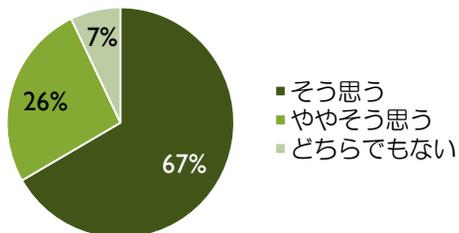
受講を通じて修得したスキルを証明する証明書を取得できることは良いと思いますか？



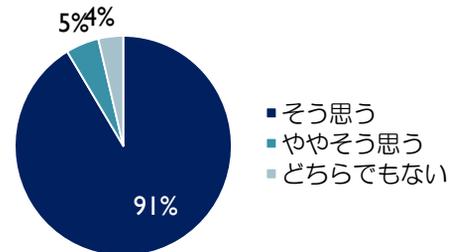
証明書を取得できる科目を積極的に履修しようと思いますか？



この証明書を活用しようと思いますか？



大学の授業に外部機関の付加価値（証明書等）を与えることを良いと思いますか？



団体概要

団体名：特定非営利活動法人 実務能力認定機構（略称：ACPA）

（英文名：Accreditation Council for Practical Abilities）

代表者	理事長	笈 捷彦	早稲田大学 理工学術院 教授
	専務理事	内山 博夫	（株）早稲田総研インターナショナル シニアプロフェッショナル
	理事	伊藤 健二	慶應義塾大学 大学院政策・メディア研究科 特別研究准教授
		大塚 雄作	京都大学高等教育研究開発推進センター 教授
		樽松 明	早稲田大学 理工学術院理工学研究所 客員研究員
		小林 尚登	法政大学 デザイン工学部 教授 情報技術（IT）研究センター 副所長
		阪井 和男	明治大学 法学部 教授
		谷口 邦生	早稲田大学 理事
		深澤 良彰	早稲田大学 理事、理工学術院 教授
		山田 恒夫	放送大学 ICT活用・遠隔教育センター 教授
	監事	阿川 功	阿川事務所グループ 代表
		秋月 修	早稲田大学グループホールディングス（株）取締役副社長
	顧問	安西 祐一郎	慶応義塾 学事顧問
		清成 忠男	法政大学 学事顧問名誉総長
		坂元 ・	社団法人 日本教育工学振興会 会長 東京未来大学 学長
白井 克彦		放送大学学園 理事長	

設立：2003年12月1日（内閣府より認証）

活動目的 企業・大学など教育機関・官公庁の賛同のもと、新しい教育システムと実務能力認定制度を確立し、社会が求める人材の育成を支援することをミッションとして掲げ活動しています。

主な事業

- ・実務能力認定制度に係わる調査・研究
- ・実務教育に関する第三者機関としての認定・認証
- ・個人の実務能力の認定

所在地：〒162-0045 東京都新宿区馬場下町5番地 早稲田駅前ビル3階

Tel 03-5273-9127 E-mail inqg@acpa.jp

※ 本提案の問合せ先は上記へお願いいたします。